

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38785
事業名	大学連携強化推進費					
評価担当課	所 属	政)政策企画部 公民. 推進担当			電話番号	011-211-2281
施策名	若者は、質の高い教育などを通して成長するとともに、安心して過					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	人口減少、少子高齢化等さまざまな社会課題に対し、行政のみならず多様な主体で取組必要性があることから、大学が行う公益的事業等に対する補助を実施するもの。
	事業内容(何を実施し)	①地域連携プラットフォーム(PF)に対する補助:大学、地方公共団体、産業界等が一体となって地域課題の解決に取り組む場であるPFに対し、事業運営に要する経費等に充てるため補助を実施。 ②大学が民間企業等と連携して行う公益的事業に対する補助:大学が、民間企業等の多様な主体と連携・協働して行う公益的事業(若者の地元定着や地域課題の解決に資する事業等。以下同じ。)に対する補助を実施。 ③学生団体が行うまちづくり活動に対する補助:大学に在籍する学生による団体が、地域団体と連携・協働して行うまちづくり活動に対する補助を実施。 ④大学が行う公益的事業に対する補助:各大学が自身の強みや特色を生かして行う公益的事業に対する補助を実施。 ⑤審査委員への報酬:②及び③の補助事業採択に係る外部審査委員への報酬。 ⑥アドバイザーへの報酬:③の推進に必要なアドバイザーへの報酬。 ⑦広報・運営費:③に係る成果報告会等の運営業務、事業PRのための広報業務に係る委託費。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	大学連携による地方創生の推進
	他都市の状況	・ふるさと納税を活用した大学支援事業を実施している他自治体:京都市、神戸市、北九州市、千葉市等 ・福岡市:福岡都市圏の大学、福岡商工会議所、福岡市などが「福岡未来創造プラットフォーム」を結成。学生募集や人材育成、地元就職・定着の促進、生涯学習の機会充実等において連携。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	858 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人
令和5年度予算額	12,221 千円	うち特定財源	12,221 千円	正規職員業務量	0 人
令和5年度決算額	6,754 千円	うち特定財源	6,754 千円	正規職員業務量	0 人
令和6年度予算額	62,000 千円	うち特定財源	62,000 千円	正規職員業務量	0 人

指標	アウトプット活動指標1	補助事業の累計件数増				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		0	8	8	19	31	39
	↓						
	アウトカム成果指標1	市内大学による札幌市と連携した地域課題解決に繋がる取組				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		102	109	119	116	120	125
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	目標を上回る結果となり、市と大学との連携件数が増加していることを高く評価している。今後も大学の連携強化を継続し、さらなる課題解決に向けた取り組みを推進していく。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	大学が民間企業等と連携して行う公益的事業に対する補助について、大学が持つ高度な知見を生かすため、2年度で実施し、調査研究と、それを踏まえた実践等を生かす「複数年型」を新設。
来年度以降の方向性	大学が民間企業等と連携して行う公益的事業に対する補助に関する見直し。